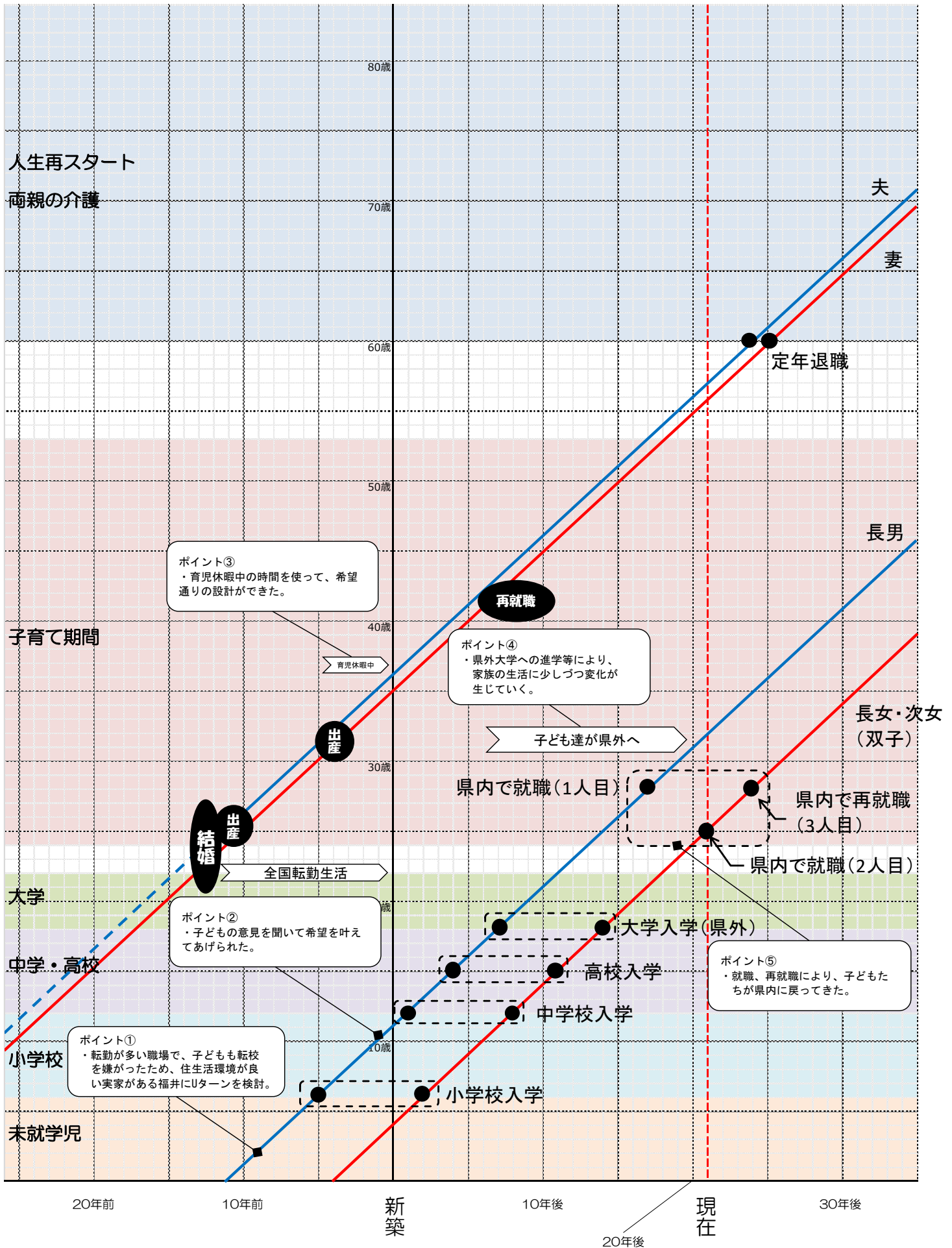


家族のタイムテーブル (Bさんのケース)

家族構成：夫婦 + 子ども3人



Bさんの住まい紹介 (アンケート満足度 (最大5) : 5)

子どもが全員県外に出た際は、1階の和室を寝室に使用便利だった!

ポイント
リビングと一体的に利用できるテラスを設置
雨が吹き込まないよう庇を深くした。

ポイント
リビング、テラス、庭が同じ高さになっていてとても開放的!

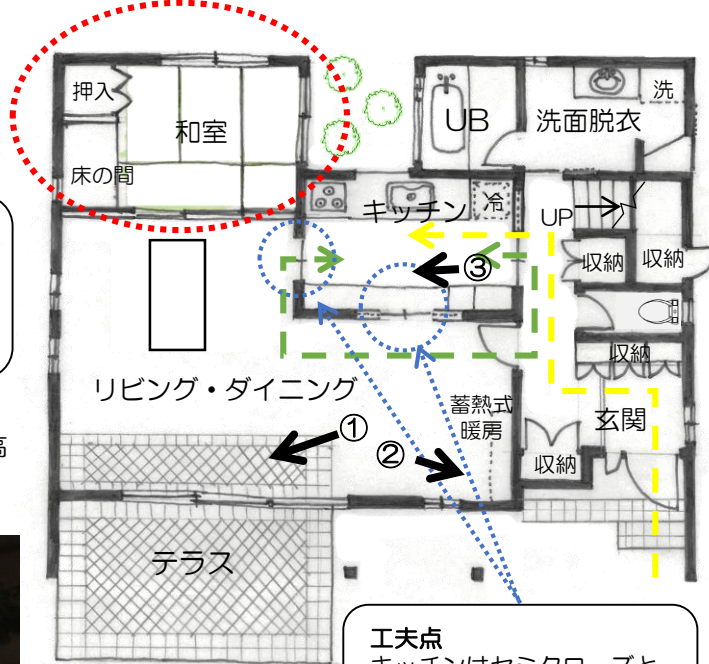


リビングと一体のテラス

ポイント
寝室には、造り付けのテーブルを設置。テレワークもできて便利!

ポイント
子ども達は成人して、全員家に戻ってきたが、建築当初とほぼ生活スタイルを変えずに、住むことができた。

寝室
夫婦用 → 長男用
子ども部屋2つ → 長女・次女用
和室 (1階) → 夫婦用



1F

工夫点
キッチンはセミクローズとすることで、普段と来客時の使い方に配慮。



セミクローズのキッチン

工夫点
家事動線を考慮して、キッチンは回遊できるようにした。玄関からの動線も短く、買い物帰りの片付けも楽。

工夫点
子ども達と料理を作れるよう、キッチンを広くした。



リビング (蓄熱式暖房)

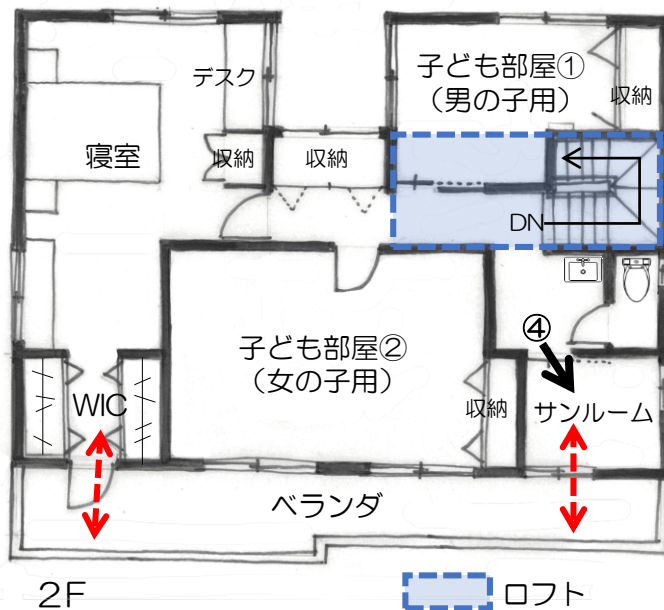
蓄熱式暖房を設置。(20年前では、設置しているところは少なかった。) 結露もなく、24時間優しい暖かさ。

--- 買い物→調理までの動線
--- キッチンの回遊動線
--- 物干し→片付け動線

工夫点
収納スペースを大きく取り、家具は作り付けにして、物を置かないようにした。

ポイント
長男の希望で、子ども部屋①はタタミ敷とし、秘密基地風のロフトを設けた。成人後も、お気に入りのスペースとして使用している。

工夫点
2階の南側に、サンルームとベランダを設置。洗濯物を干す・しまう動線を短くした。



2F

ロフト



サンルーム

Bさんからのアドバイス

- 子ども部屋を作る際、子どもの意見も聞いたことで、子ども達にとって居心地のよい住まいが作れた。現在は、一度県外に出た子どもたちも全員戻ってきました。メンテナンスをしながら長く住み続けていきたいです。
- アトピー対策として、無垢材(ヒバ)の床、リノリウム床、自然素材の塗料、蓄熱式暖房機等、体に優しい素材を採り入れました。